

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

カンボジアへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年12月25日（一部地域のレベル引上げ）

タイとの国境付近（タイ国境から50km以内）	〔レベル3〕 「渡航はやめてください。（渡航中止勧告）」（継続）
タイとの国境付近（タイ国境から50kmを越えて80km以内の地域）	〔レベル2〕 「不要不急の渡航は止めてください。」（引上げ）
上記以外の全土	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続）

【ポイント】

- カンボジア・タイ両国においては、これまで両国軍の間で発砲や空爆を伴う衝突が発生しています。本年7月24日、ウドーミエンチェイ州、ブレアピヒア州の国境付近において、激しい軍事衝突が発生したほか、バンテアイミエンチェイ州やコックコン州の国境付近にもタイ軍が増隊を展開しました。その後、7月28日に両国は即時・無条件の停戦に合意し、10月26日には両首脳間で停戦合意の履行を含む緊張緩和に向けた共同宣言に署名しました。しかし、12月7日からブレアピヒア州及びウドーミエンチェイ州の国境地帯で軍事的措置より再び情勢が悪化し、8日にはさらに戦線が拡大し、現在は、バンテアイミエンチェイ州やボーサット州、バットタンバン州、コックコン州などでも激しい戦闘や空爆が断続的に行われています。
- 両国国境地帯では全域に亘って緊迫した状況が続いているところ、国境から50km以内の地域に危険レベル3《渡航中止勧告》を発出しています。どのような目的であってもこれら地域への渡航は止めてください。また戦闘地域や地元当局からの避難指示があった地域からは、安全を確保した上で直ちに避難してください。タイとの国境付近の他地域についても事態が急変する可能性がありますので、避難指示がある場合は安全確保の上速やかに避難してください。
- タイ軍機による空爆が国境から50kmを越える地域においても複数行われており、中には国境から80km近くまで攻撃を受けた例が報告されているところ、レベル3の地域から30km以内の地域を危険レベル2に引き上げます。不要不急の渡航は取り止めてください。やむを得ず渡航する場合は、国境情勢についての最新の動向を確認した上で、十分な安全対策をとってください。
- 過去の内戦の時期等に国内に持ち込まれ、いまだ残存する一部の銃火器を使用した強盗事件が度々発生するなど、日本や他の東南アジア諸国と比較して、治安は決して良くありません。
- プノンペンやシェムリアップなどの観光地においては、日本人を含め、外国人が被害者となる犯罪事案が多く発生しています。犯罪の標的とされないよう、十分な対策を講じてください。加えて、交通事故も多発しておりますので、御注意ください。
- カンボジアで好条件の仕事があるとして勧誘された外国人が監禁状態に置かれ不法行為に強制的に従事させられる事案が発生しています。就労のための渡航に際しては就労先の情報などを十分に確認してください。

【概況】

- (1) 2025年5月28日、タイとの国境付近（ブレアピヒア州）において両軍による軍事衝突が発生して以降、国境付近で緊張状態が続いていましたが、7月24日、ウドーミエンチェイ州、ブレアピヒア州の国境付近の複数の係争地において、両軍による軍事衝突が発生し、その後も戦闘が続きました。同26日には、これまで特段の係争がなかったボーサット州の国境付近でも軍事衝突が発生したほか、バンテアイミエンチェイ州やコックコン州の国境付近にタイ軍が部隊を展開し、緊張が高まりました。その後、7月28日に両国は即時・無条件の停戦に合意し、10月26日には停戦合意の履行に向けた共同宣言に署名しました。
- しかしながら、12月7日からブレアピヒア州及びウドーミエンチェイ州の国境地帯での軍事的措置より再び情勢が悪化しました。8日にはさらに戦線が拡大し、現在は、バンテアイミエンチェイ州やボーサット州、バットタンバン州、コックコン州の国境全域に亘って激しい戦闘や空爆が断続的に行われています。さらに、軍事施設を対象としたと思われるタイ軍機による空爆が国境から50kmを越える地域においても複数行われており、中には国境から80km近い地域で攻撃を受けた例が報告されています。これまでに主なものだけでもシェムリアップ州スレイスノム郡で3回（12月15日、19日、24日）、ヴァリン郡スラエノイ村で2回（12月11日、22日）の空爆があったほか、バットタンバン州バノン郡でも2回（12月24日）の空爆がありました。カンボジア内務省は24日夕刻までに民間人30名が死亡（避難所での死亡者9名を含む）し、87名が負傷したほか、約64万人の住民が避難した旨公表しています。
- (2) 一般治安情勢等
カンボジアでは、過去の長期にわたる内戦時等に銃火器が国内へ持ち込まれ、多くは回収されたものの、いまだ残存する銃火器を使用した強盗事件等が度々発生しており、日本や他の東南アジア諸国と比較して、治安は決して良くありません。
- 外国人が多い都市部や観光地では、強盗、ひったくり、置き引き、こん睡強盗、スリ、いかさま賭博詐欺などの犯罪が多発しています。日本人も、事件に巻き込まれて重傷を負ったり、多額の金銭を詐欺されたりするなど、被害が多く発生しています。
- また、カンボジアの経済発展に伴い、ビジネスや投資に係る詐欺事件も複数報告されるようになってきました。
- (3) その他の犯罪情勢（特殊詐欺、闇バイト等）
最近、「海外で短期間に高収入」、「簡単な翻訳作業」といった、好条件の仕事があるなどとして就労希望者を外国で勧誘し、カンボジア到着直後にパスポートや連絡手段を取り上げ、外出を制限し監禁状態に置いたうえで、電話詐欺などの不法行為に従事させる事案が多数発生しています。
- 被害者及び加害者のいずれも外国人であるケースが少なくなく、組織内のトラブルにより暴行を受けるなどの被害や、加害者として現地警察に拘束される等、相当数の外国人が被害に遭っており邦人の被害も報告されています。 知人等の紹介でカンボジアでの就労を検討・予定されている場合は、上記のような情勢を理解し、安易に勧誘に同意することなく、勤務先が信用に足るものか、安全が確保されているか等についてよく確認し、確認できない場合は渡航を取り止めることも視野に入れて慎重に判断してください。
- 関係情報：https://www.kh.emb-japan.go.jp/itpr_ja/b_000803.html
特殊詐欺事件に関する注意喚起（加害者にならないために）
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2023C035.html

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp> <http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903

外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306

外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047

までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。